

2026年 8 月 4 日

週間情報

No. **0830**

発行：全国消防長会 企画部 企画課 東京都港区虎ノ門 2-9-16 TEL03-4500-6622 URL: <https://www.fcj.gr.jp/>

目次

※ 目次の項目をクリックすると、該当ページへ移動します。

消 防 本 部 の 動 き

▽訓 練

- ◆ 「伊根湾観光船事故対応訓練」を実施
[宮津与謝消防組合消防本部（京都）](#)
- ◆ 水難救助合同訓練を実施
[銚子市消防本部（千葉）](#)
- ◆ 「令和 8 年度諏訪広域消防水難救助演習」を実施
[諏訪広域消防本部（長野）](#)

▽研 修

- ◆ 救急実務研修会（H P - C P R）を開催
[気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部（宮城）](#)
- ◆ 「令和 8 年度ハラスメント防止研修会」を開催
[佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部（千葉）](#)
- ◆ 「リチウムイオン電池鑑識要領等について」に関する職員研修会を開催
[西条市消防本部（愛媛）](#)

▽その他

- ◆ 消防協力者に感謝状を贈呈
[海老名市消防本部（神奈川）](#)
- ◆ 消防協力者に感謝状を贈呈
[東温市消防本部（愛媛）](#)
- ◆ 消防協力者に感謝状を贈呈
[芳賀地区広域行政事務組合消防本部（栃木）](#)
- ◆ 麻布消防署開署 100 周年記念式典を挙行
[東京消防庁（東京）](#)
- ◆ 水難救助隊による海岸清掃を実施
[鶴岡市消防本部（山形）](#)
- ◆ 第 47 回原子力発電所等所在市町村消防情報連絡会総会を開催
[ひたちなか・東海広域事務組合消防本部（茨城）](#)
- ◆ 「熱中症予防および救急車適正利用の街頭広報」を実施
[高崎市等広域消防局（群馬）](#)
- ◆ 「第 44 回十二都市経理担当者会議」を開催
[浜松市消防局（静岡）](#)
- ◆ 中学生と連携し「救急隊連携訓練」を実施
[中津川市消防本部（岐阜）](#)
- ◆ 北アルプス白馬岳で山岳遭難防止啓発活動を実施
[北アルプス広域消防本部（長野）](#)

▽消防庁通知等

- ◆ 「警防活動時等における安全管理マニュアル」の一部改正について
(消防消第301号、令和8年7月23日)

▽報道発表

- ◆ 令和8年度消防団入団促進広報に関するイベントの実施
(令和8年7月21日、消防庁)
- ◆ 令和8年6月の熱中症による救急搬送状況
(令和8年7月22日、消防庁)

▽情報提供

- ◆ 令和8年秋の火災予防運動用ポスター等のあっせんについて
一般財団法人全国消防協会
- ◆ 令和8年度予防技術検定の実施について
一般財団法人消防試験研究センター

「公式 X」を開設!!

～あなたのもとへ直接、素早く情報をお届け～

フォローはこちら



X (旧 Twitter) 登録用二次元コード

消防本部の動き

▽訓 練

◆ 「伊根湾観光船事故対応訓練」を実施

宮津与謝消防組合消防本部（京都）

宮津与謝消防組合消防本部では、令和8年7月6日（月）、伊根浦伝統的建造物群保存地区を有する伊根湾内において、宮津海上保安署、京都府警察本部機動隊、宮津警察署および北京都ドローンスクールなどと合同で、「伊根湾観光船事故対応訓練」を実施しました。

この訓練は、夏の観光シーズンを前に、消防機関と関係機関との連携強化を図るとともに、指揮命令系統の確立、円滑な情報共有および海上における救助活動・潜水捜索活動能力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、丹後海陸交通株式会社にご協力いただき、「運航中の観光船が座礁した」との想定で、海上保安署の巡視艇、警備艇および水上バイクによる海上救助や協定に基づく民間ドローンによる上空からの情報収集などを実施するとともに、機動隊および消防の潜水隊による連携した救助活動を行いました。

今後も、訓練で得られた成果を生かし、各関係機関との連携をより一層深め、迅速かつ的確な災害対応に努めてまいります。



【訓練の様子】



【左から、警備艇「たんご」、巡視艇「あまかぜ」、観光船「かもめ7」】

◆ 水難救助合同訓練を実施

銚子市消防本部（千葉）

銚子市消防本部では、令和8年7月6日（月）から8日（水）までの3日間、太平洋沿岸地域を管轄する旭市消防本部および匝瑳市横芝光町消防組合消防本部と合同で、水難救助合同訓練を実施しました。

この訓練は、夏季の海水浴シーズンにおける水難事故への対応力強化を図ることを目的として実施したものです。

期間中は、各消防本部の隊員が互いの知識や技術を共有するとともに、連携要領を確認し、広域応援時における活動の円滑化および対応力の向上を図りました。

近年は、気候変動の影響による水難事故や風水害への備えが一層重要となっていることから、今後も、継続的に合同訓練を実施し、消防本部間の連携を深めることで、地域住民や海水浴客の安全・安心の確保に努めてまいります。



【訓練の様子】

[目次に戻る](#)

◆ 「令和8年度諏訪広域消防水難救助演習」を実施

諏訪広域消防本部（長野）

諏訪広域消防本部では、令和8年7月21日（火）、諏訪湖において、諏訪湖安全対策警察連絡協議会と合同で、「令和8年度諏訪広域消防水難救助演習」を実施しました。

この演習は、夏の観光シーズンを迎えるにあたり、諏訪湖における水難事故に備えた初動体制の強化、水難救助対応能力の向上、災害時における情報連絡体制の強化および関係機関との連携強化を図ることを目的として、毎年実施しているものです。

当日は、長野県警察や諏訪湖の遊覧船事業者にご協力いただき、救助演習をはじめ、ドローンを活用した状況把握や諏訪赤十字病院ドクターカーと連携した応急救護所の運営を行い、より実践的な演習を実施することができました。

今後も、諏訪圏域を守る関係機関と連携し、皆さまの安全・安心の確保に努めてまいります。



【演習の様子】

▽ 研 修

◆ 救急実務研修会（HP-CPR）を開催

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部（宮城）

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部では、令和8年7月10日（金）、当消防本部の視聴覚研修室において、救急実務研修会（HP-CPR）を開催しました。

この研修会は、救急隊員の救命処置技術の向上および隊員間の連携強化を図ることを目的として実施したものです。

今回は、年4回開催している救急実務研修会の2回目として、宮城県消防学校の教官を講師としてお招きし、各種学会でも紹介されているHP-CPR（ハイパフォーマンスCPR）に関する研修を実施しました。

消防学校から借用した資器材を活用し、教官による実技指導を通じて、胸骨圧迫や人工呼吸の質の向上および隊員間の連携強化を図りました。

今後も、研修で得た知識や技術を現場活動に生かし、地域の救命率のさらなる向上に努めてまいります。



【研修会の様子】

◆ 「令和8年度ハラスメント防止研修会」を開催

佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部（千葉）

佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部では、令和8年7月14日（火）、「令和8年度ハラスメント防止研修会」を開催しました。

この研修会は、ハラスメントに対する正しい理解を深めるとともに、適切な対応力を養うことを目的として実施したものです。

当日は、主に管理職員が参加し、心のサポートオフィスの齋藤修司氏を講師としてお招きして、指導とパワーハラスメントの境界や、ハラスメントに関する相談を受けた際の対応について、グループワークを交えながら学びました。

今後も、ハラスメントを正しく理解し、職員一人一人が相談しやすく、安心して働ける職場環境づくりに努めてまいります。



【研修会の様子】

◆ 「リチウムイオン電池鑑識要領等について」に関する職員研修会を開催

西条市消防本部（愛媛）

西条市消防本部では、令和8年7月16日（木）、17日（金）の2日間、「リチウムイオン電池鑑識要領等について」に関する職員研修会を開催しました。

この研修会は、近年多発するリチウムイオン電池火災の予防と原因究明に関する知識を習得し、市民の生命および財産を守ることを目的として実施したもので、四国で初めての開催となりました。

期間中は、愛媛県東予地区の各消防本部から当消防本部を含む5消防本部の職員が参加し、総務省消防庁消防大学校消防研究センターから、薄武史氏を講師としてお招きして、ご講義いただきました。

1日目は、座学で電池の構造や火災発生の仕組みを学び、2日目には、焼損した電池などを実際に分解して、火災時の状態を詳しく確認しました。

今回の研修で得た知識を生かし、増加するリチウムイオン電池火災への迅速な対応と、市民に対する効果的な予防啓発に取り組んでまいります。



【研修会の様子】

▽その他

◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

海老名市消防本部（神奈川）

海老名市消防本部では、令和8年7月15日（水）、救急事案において適切な応急処置を実施した消防協力者に対し、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、同年2月16日（月）、海老名駅自由通路内において、消防協力者が心肺停止となった傷病者に対して応急処置などを実施するとともに、携帯電話による映像伝送システムを使った情報提供により、傷病者を社会復帰に導いたものです。

消防協力者の迅速な判断と適切な応急処置により、傷病者の社会復帰に大きく貢献したことに対し、心から敬意と感謝の意を表します。



【感謝状贈呈の様子】



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

東温市消防本部（愛媛）

東温市消防本部では、令和8年7月15日（水）、消防協力者8人に対して、東温市長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、同年3月17日（火）、道路上において心肺停止となって倒れていた50代男性に対し、消防協力者8人が連携して救命処置を行い、救急隊に引き継いだものです。

男性を発見した後、消防協力者は周囲への応援依頼、119番通報、胸骨圧迫、AEDの準備、プライバシー保護のための目隠し、交通整理などをそれぞれ分担し、連携して救命活動を行った結果、男性は無事に社会復帰されました。

消防協力者8人の迅速かつ的確な行動により、尊い命が救われたことに対し、心から敬意と感謝の意を表します。



【感謝状贈呈の様子】



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

芳賀地区広域行政事務組合消防本部（栃木）

芳賀地区広域行政事務組合消防本部では、令和8年7月22日（水）、消防協力者に対し、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、同年5月5日（火）に発生した救急事案において、ゴルフプレー中に心肺停止となった傷病者に対し、胸骨圧迫を実施し、救急隊へ引き継いだものです。

消防協力者の冷静かつ的確な応急処置により、尊い命を救い社会復帰へと導いてくださったその勇気と行動力に対し、心から敬意と感謝の意を表します。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 麻布消防署開署100周年記念式典を挙行

東京消防庁（東京）

東京消防庁麻布消防署では、令和8年7月3日（金）、メイ・ウシヤマ学園ハリウッドホールにおいて、麻布消防署開署100周年記念式典を挙行了しました。

当日は、第1部で式典を行い、麻布消防署開署100周年記念事業実行委員会から、消防業務の円滑な運営および効果的な広報活動に資する「ディスプレイ装置」の寄贈を受けるとともに、同委員会に消防総監感謝状を贈呈しました。

第2部では、当庁音楽隊・カラーガーズ隊による記念演奏・演技や当署からの感謝と決意を込めた動画を上映しました。

開署100周年を契機に署員一同、決意を新たにし、地域の皆さまのかけがえのない生命、身体および財産をあらゆる災害から守るため、セーフシティの実現に向けて職務にまい進してまいります。



【音楽隊・カラーガーズ隊】



【式典後の記念撮影】

◆ 水難救助隊による海岸清掃を実施

鶴岡市消防本部（山形）

鶴岡市消防本部では、令和8年7月7日（火）、加茂レインボービーチにおいて、環境整備活動の一環として、水難救助隊による海岸清掃を実施しました。

この取り組みは、日頃から海難救助訓練の場として使用している同ビーチへの感謝の意を表すとともに、海難事故防止への願いを込め、環境美化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、水難救助隊員に加え、多くの非番職員も参加し、海水浴シーズンを前に海岸の美化活動に取り組みました。

今後も、地域とのつながりを大切にし、水難救助技術のさらなる向上を図るとともに、市民の皆さまの安全・安心の確保に努めてまいります。



【清掃の様子】



【訓練の様子】

◆ 第47回原子力発電所等所在市町村消防情報連絡会総会を開催

ひたちなか・東海広域事務組合消防本部（茨城）

ひたちなか・東海広域事務組合消防本部では、令和8年7月9日（木）、新潟県柏崎市において、第47回原子力発電所等所在市町村消防情報連絡会総会を開催しました。

この連絡会は、原子力発電所などが所在する全国15消防本部（局）で組織されており、今年度から当消防本部が事務局を担当しています。

当日は、総務省消防庁の齋藤特殊災害室長、開催地である柏崎市の櫻井市長、新潟県防災局などから6人の来賓をお招きし、各消防本部が抱える原子力防災に関する諸問題について情報交換を行うとともに、来賓から助言や指導を受け、会員相互の情報連絡体制の強化を図りました。

なお、令和9年度の総会は、唐津市消防本部（佐賀県）において開催される予定です。



【総会の様子】

◆ 「熱中症予防および救急車適正利用の街頭広報」を実施

高崎市等広域消防局（群馬）

高崎市等広域消防局では、令和8年7月10日（金）、多くの人でにぎわう高崎駅西口周辺において、高崎中央消防署員などが「熱中症予防および救急車適正利用の街頭広報」を実施しました。

これは、熱中症予防および救急車の適正利用について市民の理解を深めることを目的として実施したものです。

この広報活動は、今年で5回目を迎え、今回は初めて高崎市と包括連携協定を締結している大塚製薬株式会社北関東支店高崎出張所と連携して実施しました。

当日は、熱中症対策パンフレットおよび啓発品の配布（企業による清涼飲料水の配布）をはじめ、熱中症に対する正しい知識を身に付けるための〇×クイズや熱中症発症時の応急手当実演講習、消防車および救急車による巡回などの広報活動を実施しました。

今後も、熱中症から市民を守るとともに、救急車の適正利用への理解を促進するため、積極的な広報活動を継続してまいります。



【クイズおよび実演講習の様子】



【パンフレット配布の様子】

◆ 「第44回十二都市経理担当者会議」を開催

浜松市消防局（静岡）

浜松市消防局では、令和8年7月10日（金）、浜松市舞阪支所において、「第44回十二都市経理担当者会議」を開催しました。

この会議は、消防行政における諸課題について、事務処理および経理事務に関する情報交換を行うことを目的として開催したものです。

当日は、静岡市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市および浜松市の消防局経理担当者が一堂に会し、情報交換を行いました。

また、総務省消防庁消防・救急課の仲田洋介氏を講師としてお招きし、消防財政についてご講義いただきました。

今後も、経理担当者が抱える課題の共有や優良事例の共有を通じて、持続可能な消防財政の構築に努めてまいります。



【会議の様子】



【会議終了後の記念撮影】

[目次に戻る](#)

◆ 中学生と連携し「救急隊連携訓練」を実施

中津川市消防本部（岐阜）

中津川市消防本部では、令和8年7月13日（月）、市内の中学生と連携し、「救急隊連携訓練」を実施しました。

この訓練は、中学生に応急手当の重要性を伝えるとともに、119番通報から救急隊到着までの一連の対応を体験し、救急隊との連携要領を学ぶことを目的として実施したものです。

訓練に先立ち、中学校2年生120人を対象に救命講習を実施し、応急手当の基礎知識を身に付けていただきました。

その後、「教員が体育館で突然倒れた」との想定で、代表生徒4人が119番通報、心肺蘇生およびAEDによる救命処置を実施しました。

この訓練では、令和8年4月から運用を開始した東濃5市指令センターの映像通報を活用し、通信指令員が映像を通じて胸骨圧迫の実施状況やAEDパッドの装着状況を確認しながら助言を行いました。

生徒は、救急隊が到着するまで質の高いバイスタンダーCPRを継続するとともに、傷病者が倒れた時刻や電気ショックの実施回数などの情報を救急隊へ引き継ぎ、連携要領を確認しました。

訓練後には、救急隊による静脈路確保や高度気道確保などの救急活動を見学していただきました。

管内では、中学生が放課後に心肺停止となり、同級生が119番通報と心肺蘇生を実施し、傷病者が社会復帰した事例があります。

今後も、このような訓練を通じて応急手当の重要性を広く伝え、市民の救命率向上に努めてまいります。



【映像通報の様子】



【訓練の様子】

◆ 北アルプス白馬岳で山岳遭難防止啓発活動を実施

北アルプス広域消防本部（長野）

北アルプス広域消防本部では、令和8年7月21日（火）、22日（水）の2日間、白馬岳（標高2,932メートル）において、山岳遭難防止啓発活動を実施しました。

この活動は、本格的な夏山シーズンを迎えるにあたり、当消防本部の山間地救助班と大町警察署山岳遭難救助隊が合同で、山岳遭難事故の未然防止と事故発生時の迅速かつ的確な救助体制の確立を図ることを目的として、昨年に続き実施したものです。

期間中は、消防職員および警察職員の計4人が、主要登山ルートを巡回し、登山道の危険箇所の状況確認や事故発生時の救出搬送ルートの再確認を行うとともに、登山者に対し、適切な装備の確認や無理のない登山計画の遵守、こまめな水分補給による熱中症予防などを直接呼びかけました。

今後も、登山者の安全確保と山岳遭難事故の防止に努めてまいります。



【山岳遭難防止啓発活動の様子】

国等の動き

▽消防庁通知等

◆ 「警防活動時等における安全管理マニュアル」の一部改正について

(消防消第301号、令和8年7月23日)

消防庁消防・救急課長から各都道府県消防防災主管部長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

昨年8月に発生した大阪府中央区ビル火災での殉職事故を受け、大阪府消防局では事故調査委員会を設置し、事故原因及び再発防止策等について取りまとめた事故調査報告書が本年1月に公表されたところです。

消防庁では、本報告書の内容を踏まえ、全国消防長会警防防災委員会等との意見交換を実施した上で、危機的状況への対応や情報共有・指揮体制の強化など、警防活動時等における安全管理体制の一層の強化を図る観点から、別紙のとおり「警防活動時等における安全管理マニュアル」の一部を改正いたしました。(別紙省略)

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/anzennkanrimanyuaru.pdf>) に掲載されています。

消防庁消防・救急課
職員第一係 漆田・最所
TEL：03-5253-7522
E-mail：shokuin@soumu.go.jp

▽報道発表

◆ 令和8年度消防団入団促進広報に関するイベントの実施

(令和8年7月21日、消防庁)

消防庁では、地域防災力の中核として重要な役割を果たしている消防団への入団を促進するための広報に取り組んでいます。

このたび、全国で消防団への入団促進に向けた広報事業のイベントを実施します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/001082975.pdf>) に掲載されています。

<問合せ先>
消防庁国民保護・防災部地域防災室
伊藤課長補佐、青山係長、延原事務官、池田事務官
TEL：03-5253-7561
E-mail：chibou.syobodanatmarksoumu.go.jp
※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示
しています。送信の際には、「@」に変更してください。

◆ 令和8年6月の熱中症による救急搬送状況

(令和8年7月22日、消防庁)

熱中症による救急搬送人員について、令和8年6月の確定値を取りまとめましたので、その概要を公表します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/kyuuki_20260722.pdf) に掲載されています。

【連絡先】 消防庁 救急企画室 救急連携係

担 当：辻課長補佐、松田係長、出口事務官

T E L：03-5253-7529

E-mail：kyukyukikaku-kyukyurenkei_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。
送信の際には、「@」に変更してください。

▽情報提供

◆ 令和8年秋の火災予防運動用ポスター等のあっせんについて

一般財団法人全国消防協会

一般財団法人全国消防協会では、防火意識の普及啓発の推進を目的に、毎年春と秋の火災予防運動の時期に合わせて、全国の消防本部に火災予防運動用ポスター等のあっせんを行っております。

令和8年秋の火災予防運動用として、下記のとおりポスター等をあっせんいたしますので、貴消防本部の火災予防運動にぜひご活用ください。

記

1 令和8年度全国統一防火標語

『火の確認 いい日を支える いい習慣』

2 あっせんするポスター等

以下の7種で、いずれもモデルは崎浜 梨瑚（さきはま りこ）さんです。

種 別	ポスター			立看板用 ポスター	防火チラシ
	B 2	B 3（縦型）	B 3（横型）		
記 号	N-1	N-2	S-3	N-3	N-4
	S-1	S-2			

3 申込方法

所定の申込書により、FAXまたは郵送にて直接業者にお申し込みください。

4 申込先

熊谷印刷株式会社

〒135-0052 東京都江東区潮見2-3-4

TEL 03-6659-8102 FAX 03-6659-8107

5 申込締切日

令和8年8月31日（月）（業者必着）

6 その他

詳細は、各本部あてに送付したご案内文書（令和8年8月1日付全消協第125号）およびポスターなどの見本をご確認ください。

【問合せ先】

業務課

担当：岩澤、石井（健）、鳥谷部

電話：03-4500-6622

◆ 令和8年度予防技術検定の実施について

一般財団法人消防試験研究センター

令和8年度の予防技術検定を、次のとおり実施します。
本検定の受検申請方法は、電子申請のみです。また、受検案内についてもホームページへの掲載のみとなりますので、詳細は当センターのホームページをご確認ください。

- 1 検定実施年月日
令和8年12月6日（日）午後2時00分から午後4時30分
- 2 受検申請期間
令和8年7月8日（水）から8月31日（月）まで
- 3 検定区分
防火査察・消防用設備等・危険物
- 4 受検申請方法
当センターホームページから電子申請（<https://www.shoubo-shiken.or.jp>）
- 5 受検案内
当センターホームページに掲載
- 6 合格発表日
令和9年1月8日（金）（予定）
- 7 その他

団体申請には、消防本部ごとの「団体コード」が必要です。申請の際、代表者の方は次の連絡先までお問合せください。



【予防技術検定ホームページの二次元コード】

【問い合わせ先】

一般財団法人 消防試験研究センター
予防技術検定担当

TEL 03-3597-0220（代表）
（9:00～17:00（土日祝を除く））

消防本部の“今”を「週間情報」へ

～身近な出来事、旬な情報を週間情報で発信しませんか？～

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行しており、速報性のある広報となっています。

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練などを中心に掲載しています。
- ・文章は、200～400文字程度、写真は、1～2枚。
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

【問合せ】：「週間情報」担当・企画課 中西 TEL:03-4500-6622

原稿データは、【専用投稿フォーム】 <https://forms.office.com/r/GxWJXpdc03>
に投稿願います。



機関誌「ほのお」掲載記事募集中

全国の仲間に共有したい取り組みとその情熱を「ほのお」へお寄せください

全国消防協会では、機関誌「ほのお」への掲載記事を募集しています。

- ・トップ・セカンド記事 完成原稿は不要 掲載希望内容の概要（企画案）を提出
- ・消防ワイド 写真中心の自由投稿 文章：Word100字程度／写真：JPEG1枚

【問合せ】：企画課・吉田 TEL 03-4500-6622

トップ・セカンド記事：kikakeikaku@fcj.gr.jp 消防ワイド：honoo@ffaj-shobo.or.jp

※添付 5MB 超は分割送信



消防デジタルイラスト募集中!!!

～あなたのイラストが全国の消防業務を支える力となります～

- あなたのイラストが、全国の消防本部で、広報・啓発・訓練・教材作成など、消防業務の様々な場面で活用されます。
- 全国消防長会ホームページの「令和版 消防デジタルイラスト集」に掲載されます。
- ホームページ掲載時には、「〇〇消防本部〇〇作」と作者名を明記し、あなたの名前と作品が、全国に紹介されます。

詳細は、全国消防長会ホームページを検索!!!



「消防行政相談事例集」を掲載中

- これまでに蓄積された相談事案と顧問弁護士の知見を「消防行政相談事例集」として取りまとめ、全国消防長会の情報管理システムに掲載しています。
- 行政相談でこれまでに対応した事例の中から、参考になるものを紹介しています。
- 掲載している相談は、内容を整理・一般化した概要と、それに対する顧問弁護士の回答です。
- 掲載する事例は、今後、随時追加していきます。

